



市立岸和田市民病院だより

うらら

第11号
令和元年9月

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

特集

病院を支える 様々な職種

- ・総合窓口・医事業務
- ・清掃・警備業務
- ・院内ボランティア「なずな」



～当院助産師と～



当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

【目次】

- P.2…様々な職種特集(総合窓口・医事業務)
- P.3…様々な職種特集(外来清掃・駐車場警備)
- P.4…様々な職種特集(院内ボランティア「なずな」)
- P.5…医療技術局Pick Up～診療技師室(歯科衛生士)～
- P.6…口腔ケアチーム活動(口腔ケアラウンド)
- P.7…がんサロン「ルアナ」の活動等
- P.8…簡単ミニレシピ

写真館(看護体験、ICLSコース、産婦人科講座)

～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

広報誌

うらら

泉州地方では、わたし達・おれ達という意味で、「うらら」や「おらら」が使われていました。いつまでも、わたし達・おれ達に愛される市民病院でありたいとの願いをこめて、「うらら」と名付けました。



市立岸和田市民病院
ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや、健康、信頼関係。そして質の高い医療を温かい心で市民のみなさまに提供する心を表現しています。また飛び立つ「鳥」には地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

総合窓口・医事業務

普段の仕事内容

患者情報登録・診察券作成をする初診窓口、保険証・診療内容を確認し算定・請求する計算窓口、お支払い窓口の業務を担っています。

また、1ヶ月の診療内容をまとめた診療報酬明細書を作成し、保険者へ請求する業務も行っています。

仕事中的モチベーション・意識していること

正面玄関出入り口近くの窓口という事もあり、患者様からは様々な質問等頂きますが的確にスムーズにお答えできる様心掛けています。

診察終了後、患者様の会計の待ち時間を少しでも短くするにはチームワークも重要になるため、混雑時の連携がスムーズにとれる様、日々意識をして業務を行っています。

また、私たちの接遇マインドは、ホスピタリティ（相手を思いやるキモチ+行動）です。患者様やご家族様・来院者、そして一緒に働く同僚に対しても相手の身になり、常に思いやり、いたわりの気持ちを持って親身に接することを心がけています。



仕事中的やりがいを感じる時

周りのスタッフと協力し業務をスムーズに進める事も大切なことですが、患者様が困っている事に少しでもお手伝いでき、笑顔になって頂いた時にやりがいを感じています。



今までで一番印象に残っているできごと

様々な患者様とお会いする医事課業務のなかで、高額医療についてのお問合せをいただいた時、最初はとても心配そうで不安な様子でお話を聞かれている患者様やご家族様も、説明を聞かれた後にホッと和らいだ表情でお帰りになられる姿を見た時、こちらもとてもうれしく思い、心が和みました。



岸和田市の印象

岸和田市と聞いて思い浮かぶのは全国的にも知名度が高いだんじり祭。

人情味のある暖かい市民の方々が毎年盛り上がり、活気に満ち溢れた町だと思います。

市民の皆さんへのひとこと

患者様からお気軽に声をかけて頂ける窓口を目指すために、笑顔を中心掛けて接しています。ご質問などがございましたら、遠慮なくお尋ね下さい。

外来清掃・駐車場警備

普段の仕事内容

外来清掃は、地下1F・2Fの各診察室、検査室等の清掃と共用部分（トイレ・廊下・手摺・椅子）等を清掃しております。定期清掃では、床面のワックス掛けを定期的に行っております。清掃作業員が、各部署にて安全に作業を遂行しております。

駐車場警備の仕事として、院内の駐車場で、車の誘導、バイク・自転車などの整理、院外駐車場の巡回、救急車の誘導、正面入口前の車の乗降場所への誘導や、車椅子の方の補助を行なう等、正面入口前道路では、混雑時に2名の警備員が事故防止に努めております。

微力ながら医療の現場に貢献して参ります。



仕事中的モチベーション・意識していること

常に安全確認・安全作業で、事故のないように各自作業をする事を心掛けています。

仕事中的やりがいを感じる時

来院の皆様に、「毎日頑張っているね」、「キレイにしてくれてありがとう」という一声をかけて頂いた時は、この仕事をしていて良かったと感じます。

今までで一番印象に残っているエピソード

場所がわからず迷っていた患者様を、その場所にご案内した所、「おおきに」とお礼を言って頂き、大変恐縮しました。後日、その患者様をお見かけした際に、お声をかけて頂き、たいへん嬉しく感じました。



岸和田市の印象

とにかくパワフルな印象です。「だんじり」にかける情熱と地元愛は素晴らしく、活気あふれる街です。

市民の皆さんへのひとこと

来院の皆さまに、明るく清潔で快適であると感じて頂ける環境作りに、全力で取り組みたいと思います。



院内ボランティア（なずな）

普段の仕事内容

「自分のできることを自分のできる時間に！」というスタンスで活動していますが、患者様と直接関わる部署では、日時を決めて交代で活動しています。

外来	玄関での診察受付のお手伝いや案内。
病棟	緩和病棟での活動（ティーサービス・花の世話・配膳補助・患者様との談話）
手作業	衛生補助具の作成（ペーパー便座づくり等）や縫製。
植栽手入れ(ガーデニング)	花壇『風の森』の管理。
図書室	10:00～12:00、13:00～15:00 図書の貸出・返却手続きや閲覧環境の整備。
音楽	現在、活動を休止しています。
生け花	月曜日(午前)に活動。玄関・緩和ケア病棟・2.3Fエレベーター横。



その他、病院主催の「七夕ロビーコンサート」と「クリスマスロビーコンサート」当日のお手伝いや、プログラムと一緒にお渡しするカード作りをしています。

仕事中のモチベーション・意識していること

潤いと温かみのある、患者様が快適に利用できる病院であってほしいと願い、表情や言葉使いに気をつけて、患者様に接するよう日々心がけています。

「患者様の邪魔をしない。」ということ念頭に置き、状況を見極めながら、患者様にできる限り寄り添い、共にありたいと考えております。



仕事中心やりがいを感じる時

- ・質問や相談に的確に返答できたなと思える時。
- ・患者様のお話に傾聴し、その言葉から学ばせていただいたと感じた時。
- ・ボランティア室での手作業の後、気持ちのいい達成感を味わえた時。
- ・手作業中の何気ない会話から学び、その学びを通じて成長できたなと思える時。
- ・演奏を心地よさそうに聴いていただき、演奏後に声をかけていただいた時。



今までで一番印象に残っているエピソード

- ・再診や再入院の患者様から、「わたしのことを覚えてくださってますか？」と笑顔で声をかけてくださったこと。
- ・図書室での活動を見て、「わたしも手が空いたら、同じようにボランティアをしたいです。」と言われたこと。

岸和田市の印象

昨年度、緩和病棟に音楽ボランティアで来られた方の言葉を紹介させていただきます。「岸和田の方は、感情を素直に出してくれるのでうれしいです。」とおっしゃっておられました。クリスマスコンサートでの出来事です。患者様もご家族様も医療者の方も、わたしたちボランティアもノリノリで楽しく聴かせていただきました。



市民の皆さんへのひとこと

市民のための岸和田市民病院を、市民みんなで作り上げていこうという意識が大切だと思います。「自分のできることを、自分のできる時間に！」一緒にボランティアに参加してみませんか？

ボランティア
募集中!!

お問合せ先:ボランティア担当 072-445-1000(代)

医療技術局PickUp

～診療技師室～

(歯科衛生士)

歯科衛生士がお口の健康をサポートします

歯科衛生士の仕事。毎日こんなことしています。



① 歯科予防処置



歯垢や歯石などの沈着物を取り除き、歯周病を予防します。

② 歯科診療補助



外科処置等の補助につき、歯科医師をサポートし、診察を協働しています。

③ 受付業務



予約、問い合わせの電話対応や、初診の方の問診を行ったり、患者様と先生との橋渡しの役割を担っています。



④ 器材メンテナンス



手術後の器材の洗浄や整理、診療台のメンテナンスなど、診療環境を整えます。

⑤ 歯科保健指導



糖尿病教室や、出前講座等、様々なイベントを通して、歯磨きの指導や、口腔ケアの重要性を発信しています。



⑥ 口腔管理センター



病棟では、口腔ケア回診を行い、早期に、口腔内の変化に対応できるようにしています。又、必要な方には、歯科衛生士が介入します。外来にて、口腔管理地域連携パスを実施し、治療の、前、中、後を通して、お口の管理を行っています。

口腔ケアで、全身疾患を予防

口腔ケアチームの活動紹介

歯と口には、食べること、話すこと、表情をつくること、平衡感覚を保つことなど様々な働きがあります。口の中を清潔に保つことは、①「食べる」「話す」などの口腔の機能の維持・回復、②虫歯・歯周病・口内炎の予防による歯の維持、③肺炎や敗血症など感染症の予防、④心疾患、糖尿病などの全身疾患の予防、改善、⑤口腔粘膜炎の予防・症状を軽減する効果があるといわれています。

酸素療法や、免疫力・抵抗力が低下してしまう治療などを行うと、口腔内に乾燥や粘膜炎、口腔感染症が起りやすくなります。特に抗がん剤・放射線治療を行うと、高頻度に口腔粘膜炎などの合併症が起きます。口腔ケアを行うことで2次感染を防ぐことができ、これらの重篤化を防ぐことができるといわれています。

当院では、がん治療を行う患者さんに対して地域の歯科医院と連携し、入院前から入院中、退院後まで、継続した口腔機能管理を行っています。口腔ケアチームでは、口腔内に問題を生じた、あるいは生じる可能性がある患者さんの口腔内のチェックを定期的に行い、病棟看護師とともに口腔ケアを実施し、口腔ケアの方法を提案しています。



～歯科医師会所属Drも参加・協力していただいています～

口腔ケアラウンドに参加しています

岸和田市歯科医師会では、7年前より市民病院と連絡を取り合って、治療が長くなる患者さんの入院前後に地域の歯科診療所で口腔ケアを行っています。大きな手術や長期にわたる薬による治療の副作用で口の中の環境・衛生状態が悪くなり、全身に良くない影響を及ぼすことがありますが、このようなことをできるだけ予防し軽くするために継続した歯科治療を行い、口のはたらき（かむ、飲み込む、しゃべる等）をよくするだけでなく、有害な細菌を減らすことを目的としています。入院中は、口腔管理センターが行っている口腔ケアラウンド（口の中を管理する病棟回診）に参加させていただいて、指導を受けながら途切れることなく共同で診療を行っています。個々の患者さんの問題点・成果などは、市民病院で合同の会議を開催して情報を共有しています。また、当会会員の知識向上を図るために、定期的に専門知識を有する市民病院の先生方をお迎えして、講演会を開催しています。今後も岸和田市歯科医師会会員は、市民病院で治療を受けられる患者さんの継続した口腔ケアを行い、口のはたらきと環境・衛生の維持向上に努めてまいります。



岸和田市歯科医師会

★がん患者サロンのご案内★

2018年3月より「がん患者サロンLuana(ルアナ)」をオープンしています。Luana(ルアナ)は、ハワイ語で「皆で楽しむ、くつろぎの時間、ゆったりとした」などの意味があります。がん患者さんはもちろんですが、ご家族も診断時から様々な不安や辛さが生じると思います。そんな悩みや体験を語りあい、ほっとひと息つける場所を提供したいとの思いで開設しました。

毎回、様々なテーマで各専門職から20分程度のミニレクチャーを行っています。事前申し込みは不要で時間内は途中参加・途中退出は自由です。がん患者さん・ご家族ならどなたでも立ち寄れますので、お茶を飲みながらくつろいでみませんか。



2019年度 市立岸和田市民病院がん患者サロン

Luana(ルアナ)

Luana(ルアナ)とはハワイ語で「やまらく、くつろぐ、ゆったりとした」という意味があります。

1人で悩まず「ほっ」とゆるみに...くつろぎに...
語らいに...いらしゃいませんか? 時間中は出入り自由です。
がん患者さん・ご家族ならどなたでもお越しいただけます。

日時: 奇数月の第4金曜日 13:00~14:30
場所: 市立岸和田市民病院 2階 研修室

ミニレクチャーのご案内

毎回、13:30頃よりスタッフによるミニレクチャーがあります(15分程度)
※講師の都合によりテーマ内容が異なる場合があります

2019年度サロン開催日	レクチャーテーマ
5月24日(金)	お薬について(痛みをうまく伝えましょう)
7月26日(金)	食欲がない時のお食事の工夫 (栄養補助食品の紹介)
9月27日(金)	リンパ浮腫のケアについて
11月22日(金)	緩和ケアについて
1月24日(金)	放射線治療による皮膚トラブルとケアについて
3月27日(金)	未定

お問い合わせ・お申込み
がん相談支援センター
072-445-1000(代表)

お問い合わせ先:がん相談支援センター 072-445-1000(代)

～「認定がん相談支援センター」に認定されました～

2019年1月から当院のがん相談支援センターが「認定がん相談支援センター」に認定されました!

近年、がん医療の進歩により、たくさんの薬や治療法が開発されています。その一方、治療が長期化し、選択肢が増えたことで、患者さんやご家族のお困りごとが多様になっています。そこで、様々な相談により良く対応ができるように、一定の基準を満たしたがん相談支援センターは、国から「認定がん相談支援センター」の認定を受けることが出来るようになりました。

当院は、今年から認定され、引き続き皆様のいろんなお困りごと、質の高い対応ができるように努めてまいります。がんに関するご相談がありましたら、気軽にお越しください。



お問い合わせ先:がん相談支援センター 072-445-1000(代)

ミニレシピ

ふっくらハンバーグ

【栄養量】エネルギー192kcal、たんぱく質10.9g、脂質12.5g、炭水化物8.4g、塩分0.6g



今回は病院食のレシピ第5弾として、卵アレルギーのある人も食べられる卵を使わないハンバーグを紹介します。

ふっくらと柔らかい食感に出来上がるので、一度作ってみられてはいかがでしょうか？おいしいですよ。

材料(1人分)

合いびきミンチ	50g
玉ねぎ	40g
じゃが芋(すりおろし)	15g
食塩	0.04g
ナツメグ	15g
こしょう	0.1g
植物油	1g
＜付け合せ＞	
グリーンアスパラ	30g
パプリカ(赤)	5g
パプリカ(黄)	5g
塩	0.1g
ブラックペッパー	0.1g
バター	1g

作り方

- ① 玉ねぎをみじん切りにし、合いびきミンチ、すりおろしたじゃが芋、塩、こしょう、ナツメグと合わせてよく練り合わせる。
- ② ①を小判型に丸める。
- ③ フライパンで植物油を熱し②を焼く。表面に焼き色がついたら蓋をして弱火にし、中まで火を通す。
- ④ 付け合せはバターで炒め、塩、ブラックペッパーで味を調べて好みのソースをかける。

お好みで煮込んでみたり、デミグラスソースをかけてみたり、自分の好みでお召し上がり下さい。(写真はデミグラスソースをかけています)

写真館



ICLS
コース

7月7日(日)に、当院にて、ICLS(二次救命処置)コースを実施しました。院内外の医療従事者が参加し、突然の心停止に対する蘇生トレーニングの実技実習を行いました。



【ふれあい看護体験】

7/31(水)、「看護師の仕事に興味がある。将来、看護師になりたい」と思っている20名の高校生が、病棟で看護体験と、手術室・ICU・救急センターの見学を行いました。



ふれあい
看護体験



産婦人科
講座

7月27日(土)桜台市民センターで産婦人科中川倫子医師による産婦人科講座「産婦人科医は女性のサポーターです！」を開催しました。当院では今後も定期的に健康講座を開催いたします。講座の後の質問時間も好評です。気になるテーマがあればお気軽にご参加ください。

編集後記

本号のトップページには、当院で産まれた赤ちゃんを掲載させて頂きました。すやすやと眠るあどけない表情の赤ちゃん。その可愛らしさに、微笑む助産師。その瞬間を写真に収めました。平成26年5月の産科医療再開以来、昨年7月には500人目の赤ちゃんが誕生いたしました。今後も、たくさんの赤ちゃんの誕生のサポートが出来ることを楽しみにしております。

広報誌うらはは過去発行分も含め、市民病院ホームページからもダウンロードして頂けます。是非ご利用ください。